



楽しみながら職業観の育成

奥州ONE LOVEタウン 2012



Tシャツ工房で仕事をする参加者

こどもがつくるまち奥州ONE LOVEタウン 2012（社団法人江刺青年会議所主催）が11月23日、江刺中央体育館を会場に開催されました。このイベントは、子どもたちがものづくりやサービスの就労体験や、得たお金（タウンマネー）で買い物しながら、社会の仕組みを学び、職業観や勤労観を育もうと今回、初めて行われたもの。当日は、市内の小学4年生から6年生217人が参加しました。

工房でTシャツを作っていた佐々木優希さん（岩谷堂小6年）と小原優良さん（同）は、「将来はデザイナーもいいな」「自分が着たいようなイメージのものを作った」と話してくれました。



仙北街道を駕籠を担ぎ疾走

第17回仙北街道駕籠道中大会

第17回仙北街道駕籠道中大会（愛宕地域振興会主催）が11月11日、胆沢区若柳の仙北街道を会場に開催されました。千年以上前に開削された仙北街道に思いをはせ、地域間交流や活性化のために開催されているこの大会。全9区間のうち、前半の4区間は仮装行列、後半5区間で早駕籠競走が行われました。早駕籠大会には、行政区単位の6チームが出場。担ぎ手は、羽織はかまや着物姿の子どもを乗せた駕籠を担ぎ、ゴールの胆沢愛宕地区センターを目指し力走しました。

応援を背にゴールを目指す担ぎ手たち

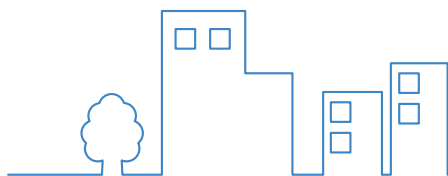


弓矢的当て体験に挑戦する参加者

世界遺産候補地で歴史体験

第4回白鳥館遺跡・鮎まつり

白鳥館遺跡・鮎まつり（同実行委員会主催）が11月10日、前沢区の白鳥館遺跡と白鳥地区防災センターを会場に開催されました。「平泉の文化遺産」関連史跡として世界遺産候補地となっている白鳥館遺跡の魅力を知らせようと企画されたこのイベント。宝探しゲームや弓矢的当て体験、前九年合戦を題材にした歴史講談などが行われました。また、中世の衣装をまとったスタッフが、北上川産の天然アユの塩焼きや郷土食のはっとなどを販売しました。



バイオリン演奏に聞き入る小学生



前沢区

バイオリンの音色に瞳輝く

松本蘭さんによるバイオリンコンサート

バイオリニストの松本蘭さんによる音楽授業が11月9日、赤生津小学校（安倍和文校長、児童47人）で行われました。この授業は、子どもたちに音楽の素晴らしさを感じてもらおうと前沢ふれあいセンター（菅原勉館長）などが主催したもの。松本さんは、「場面や登場人物を想像しながら聴くと、音楽はもっと楽しくなる」と話し、カルメン幻想曲を披露。ピアノを習っている小野寺彩花さん（2年）は、「バイオリンにも興味をもった。音楽を続けていきたい」と話しました。

江刺区

斎藤實植樹のマツを後世に

チョウセンゴヨウ説明板披露会

チョウセンゴヨウの説明板披露会（稲瀬振興会主催）が11月2日、同地区センターを会場に開催されました。このチョウセンゴヨウ（マツ）は、水沢区出身で内閣総理大臣を務めた斎藤實が、昭和9年に当時の稲瀬村を訪れた際、現在の同地区センター敷地内にあった稲瀬尋常高等小学校校庭に植樹したとされるもの。同振興会は、植樹の由来を後世に伝えるべく、説明板を設置。披露会には関係者約40人が出席し、地域財産の継承を誓っていました。

説明板の除幕を行った稲瀬小学校の児童



水沢区

6次産業で雇用創出し復興

復興六起コンペティション 奥州会場

内閣府による復興支援型地域社会雇用創造事業「復興六起コンペティション」が11月6日、水沢地区センターを会場に開催されました。本県では、4回目の開催で、県内から応募のあった12組のうち、書類審査を通過した8組がプレゼンテーションを行い、それぞれ10分の持ち時間で立ち上げの経緯や今後の取り組みを発表。審査の結果、5組の新規事業が認定され、市内からは「森のピザ工房」の千葉政幸さんが認定を受けました。



審査員に将来のビジョンを熱く話す千葉政幸さん



昔の遊び「お手玉」を披露する発表者

衣川区

中学生が活動の成果を発表

衣川区ボランティアのつどい

衣川区ボランティアのつどい（衣川ボランティア連絡協議会・市社会福祉協議会主催）が11月10日、衣川保健福祉センターで開かれ、関係者や住民など約70人が参加しました。初の開催となる今回は、講演のほか、衣川中学校生徒がボランティア体験の成果を発表。「衣川の今と昔」「学校の今と昔」などをテーマに、地域の高齢者から聞いた話をまとめ発表しました。「昔のことを知ると、今は恵まれた環境で生活している。感謝しなければ」と結んでいました。